

授業と評価の年間計画

|                  |  |  |   |   |
|------------------|--|--|---|---|
| 教科               | 数学   | 科目   | 数学B   |   |
| 使用教科書(発行所)       | 改訂版 数学B(数研出版)  |  |   |   |
| 履修条件<br>対象生徒     | 必修<br>普通科(文型) 2年   |  |   |   |
| 学習目標             | 平面ベクトル、空間ベクトル、数列について理解を深め、基礎的な知識と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身に付ける。   |  |   |   |
| 学習方法             | <b>【授業、家庭、補習・その他】</b><br>1 授業を大切に！<br>先生の説明をよく聞き、理解すること。板書を写すだけでなく、説明の中で大切な点を必ず書き込んでおく。授業を聞いてまず「分かる」状態になるように、真剣に授業を受けることが第一である。<br>2 宿題を自分で解く！<br>授業を受けて「分かった」状態から「できる」状態に自分を高め、その日に習った公式や解法を覚えることが、宿題の目的である。「できる」状態になるために「宿題」に時間をかけて取り組むことは必須である。<br>3 テストを活用！<br>テストに出題される問題は、「最重要問題」である。また、理解が不十分なところがはっきり分かるのがテストである。訂正することによって、「分からなかった」問題を「理解」しよう。 |  |   |   |
| 学習計画<br>と<br>ねらい | 2学期<br>第1章 平面上のベクトル<br>平面上のベクトルとその演算<br>ベクトルと平面図形<br>第2章 空間のベクトル   | <ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形におけるベクトルについての基本的な概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>空間図形におけるベクトルについての基本的な概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul> |   |   |
|                  | 3学期<br>第3章 数列<br>数列とその和<br>数学的帰納法  | <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを用いて事象を数学的に考察し処理できるようにする。</li> </ul>  |   |   |
| 評価規準             | 関心・意欲・態度<br>学習する内容に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとしている。   | 思考・判断・表現<br>思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることなどを通し、数学的な見方や考え方を身に付けることができる。   | 技 能<br>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけることができる。 | 知識・理解<br>基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 |
|                  | 評価方法   | 定期考査、課題テスト、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。   |   |   |
| その他              |  |  |   |   |